

第 1 回 地域エネルギー供給構想検討分科会  
< 新聞記事 >

平成 19 年 7 月 25 日

日本水素エネルギー産業会議事務局

- 電気新聞 2007/07/10 電気自動車 モデル事業、09 年度から  
経産省 年内に研究会立ち上げ
- 電気新聞 2007/07/10 六ヶ所村 PHEV 普及計画 / 県試算 ガソリンは 9 割減  
電力消費 15%増も
- 分散型発電新聞 2007/06/25 電気自動車を市場展望 JHIF が第 6 回会議
- 電気新聞 2007/06/21 青森県 地域振興に PHEV 来月、新研究会立ち上げ
- 日刊工業新聞 2007/06/20 地域エネ供給・利用の社会システム  
PHEV の導入が核
- 日刊工業新聞 2007/06/14 “家庭で充電” 実証にめど  
プラグイン HV フラットフィールド
- 環境新聞 2007/03/28 JHIF と共同研究 / あおもり水素エネ推進会議  
供給などで分科会
- < 参考 >
- 電気新聞 2007/07/20 米フォードが電力と PHEV 開発 脱ガソリン、より鮮明に

以上

## 米フォードが電力とPHEV開発 脱ガソリン、より鮮明に

2007/07/20, 電気新聞, 1 ページ, , 449 文字

米フォード・モーターと米国の電力会社である南カリフォルニアエジソン（SCE）は、プラグインハイブリッド自動車（PHEV）の開発で提携する。両社は今後数年間、数百万ドルを投じ、PHEVの評価とデモンストレーション走行などを行う。大手自動車メーカーと電力会社が提携してPHEVの開発に取り組むのは世界でも前例がないとみられる。

PHEVは家庭での充電（プラグイン）を可能とすることで電気自動車としての走行を優先、ガソリン消費を大幅に抑えられることが特長だ。自動車メーカーに課せられた省資源、省エネ化の要求を満たす一方、電力会社にとっても電力消費の拡大に加え電力負荷の平準化による生産性向上につながる可能性があり、PHEV開発に向けた動きが加速している。

フォードとSCEは今回、広範囲にわたるPHEVの使用方法和潜在的な利点について調査を進めるほか、経済価値を評価してモデル化を図ることで合意。フォードは来年をめどに、デモ走行、ベンチマークテスト用に同社の「エスケープハイブリッドSUV」を提供する。